

# 旭丘高校教育通信

## —臨時休校(家庭学習)期間・特別号(第2号)—

保護者・生徒の皆さん

### 笑顔で再開ー新名魂で頑張りましょう！

新型コロナウイルス問題にともなう臨時休校措置が、2・3年生の皆さんは3月3日から既に56日間、1年生の皆さんは4月8日から既に20日間の長期にわたっています。先日25日に歴史上はじめてインターハイ（高等学校総合体育大会）の中止が決定され報道されました。新型コロナウイルス問題で、生徒の皆さんのが自らの力を発揮していく様々な場が奪われていく状況に、私たち教職員一同、やり切れない思いで一杯です。生徒の皆さんも、仲間と交わる学校生活が過ごせず、辛く寂しい思いを抱えていることでしょう。

しかし、間もなく120周年を迎える本校の歴史においては、大正12年の関東大震災での校舎全壊や戦後の現市民会館地から現在の第1校地への移転問題など様々な困難と直面し、危機の中に希望、つまり新しい発展の芽を見いだしていく学びと実践がつくられてきました。生徒の皆さん一人ひとりは、こうした良き伝統を受け継いで現在の困難と向き合い、新型コロナウイルスのオーバーシュート（感染爆発）や医療崩壊をくい止めるための「緊急事態宣言」など社会全体の課題を見据えながら、新型コロナウイルス問題が克服される時を期して日々の自らの生活を律する努力を続けてください。

学校としても、引き続き①学校長・副校長・教頭・事務長・法人事務局と②教職員の日直、③夜間警備による学校の管理運営態勢を取り、皆さんの学習内容と学習環境を整備する取り組みを継続しています。

今回の『旭丘高校教育通信』第2号では、第1号に続いてQ&A方式を取り皆さんから寄せられた声に応えるとともに、こうした中でも継続されている学校の活動の積極面を紹介して行きます。

〈Q〉連休明けの学校の活動はどうなりますか。

〈A〉学校としての対応は、感染爆発と医療崩壊を防ぐために現在国が発令している緊急事態宣言の今後の状況をふまえて判断していきます。しかし、現在はまだ緊急事態宣言が5月6日以降も延長されるのか、解除されるのかが明らかでない状況です。また、国の専門家会議の分析結果をふまえて5月はじめに判断されるとの報道もあります。

学校としては、緊急事態宣言が延長された場合は臨時休校期間を延長しなければならないと考えています。また、解除された場合も、一定の準備期間をおいて分散登校や時差通学・短縮授業などの段階的な方法で再開をしていく必要があると思います。

こうした状況をふまえて、当面5月10日（日）まで臨時休校措置を延長し、その後の教育活動のことについては、5月7日（水）をメドにこれを定めます。

〈Q〉第1号のニュースで“Google Classroom”を活用して学習サポートのシステムを導入するとありましたか、どのようなシステムなのかもう少し詳しく聞かせてください。また、保護者の新たな費用負担は発生するのでしょうか。

〈A〉“Google Classroom”は、教育機関であれば、学校も家庭も無料で利用することができます。まずは始めに学校が準備していることは、休校期間中やその後想定される分散登校期における家庭学習課題を“Google Classroom”を活用して配布・出題することです。

その内容は、2・3年生は始業日に、1年生は入学式の際に配布した教科書や第1次・第2次の家庭学習課題とかかわり、その理解や定着を図っていくものとして作成していきます。また、生徒たちがスマートフォンで課題の受け取りや提出を行うことになりますので、課題の形式などについても工夫していきます。皆さんのが日常使っているラインと同じような形でホームルーム担任や教科担当の先生に質問をすることも出来ます。

具体的には、出来るだけ早い時期に生徒の皆さんのアカウントを作成し、郵送通知でそれを知らせて登録作業を進め、連休明けには実施段階に入していくテンポで準備を進めています。

また、保護者・生徒への一斉メール送信も5月実施できるよう取り組んでいます。

〈Q〉第2校地にかかるグラウンド整備のその後の状況はどうですか。

〈A〉授業とクラブ活動に使用するグラウンドとして取得・整備することを予定している第2校地隣接地については、昨日（27日）に売買契約がなされ、今後整備が進められる段階となっています。また、第2校地の新総合グラウンドに夜間の練習試合が出来る照度を確保する照明機器を設置する方針・計画については、本日（4/28）具体案に基づく検討会議が持たれます。

〈Q〉例年だとこの時期から大学・短大や専門学校のオープンキャンパスが始まると思うのですが、今年はどのような動きになるのでしょうか。

〈A〉新型コロナウイルス感染症拡大により人を集めることができないなか、オンラインでオープンキャンパスを行う大学・短大や専門学校が出て来ています。連休後には、こうした学校が増えしていくことが予想されます。

オンラインのオープンキャンパスでは、スマートフォンの画面を通して対面式で担当者が学校紹介をしてくれます。また、こちらから直接の声で質問し答えてもらうことも出来ます。希望する大学や短大・専門学校のホームページにアクセスしてみてください。学校としてもこうした取り組みをしている上級学校のリストを入手し、皆さんがアクセスしやすいようにしていきます。詳しくは、今後、このニュースなどでお知らせしていきます。

〈Q〉第1号のニュースに中国の姉妹校からビデオメッセージが届いたと書いてあったのですが、どんな内容なのですか？

〈A〉西安外国语大学付属西安外国语学校からのビデオメッセージは、同校の昨年日本に来て旭丘高校と交流した生徒や今年来日・来校を予定していた生徒たちが生の声で、本校からマスクを送ったことへのお礼や交流が出来ない寂しさ・悔しさ、「緊急事態宣言」下の旭丘高校の生徒・保護者・教職員と日本の状況を心配し励ます言葉を語っているものです。学校のホームページ上にもアップされているので、観てみてください。このビデオメッセージを観た卒業生・在校生からは、こんな感想が寄せられています。

●本来なら出会えたはずの生徒が今ここでその機会を失うこと、とても残念に思います。ですが直接会えなくても、旭丘高校からはマスクを、西安外国语学校からはビデオレターを。今だからできることをお互いにしていくこの関係を素敵に思います。この友好関係が続いていること、皆が健やかであることを願っています。

●日本もそうですが、中国でも亡くなった方々が多く非常に残念に思っています。「頑張れ日本！」とありましたが、私はその言葉をお返して「頑張れ中国！」というエールを送りたいです。この大きな至難を乗り越えましょう！そしてお互い元気な姿で会いましょう！

〈Q〉臨時休校が続いて昼夜逆転になりかけて困っています。

〈A〉一日の生活に目標や目当がないと朝起きる意欲がわかないものです。自分の得意なことや好きなことからでいいので、「朝起きてこれに取り組もう」という目的をつくってみらうでしょう。また、昼間の活動がないとどうしても身体が疲れ夜も眠くならないと思います。このような状況なので、自ら意識して身体を動かす機会をつくることが大切です。例えばスポーツ選手らがSNS上に、家で出来る簡単なトレーニングを載せてたりするので、そういうものにトライすることも良いかと思います。または感染予防をした上で、ウォーキング、ランニングをすることも良いです。何にしろ日中に身体へある程度の負荷をかけることが、生活リズムの改善や健康維持、増進に必要です。あらためて、学習や運動、家の手伝い、自分の趣味などにかかる1日の生活の計画を立て取り組んでみてください。

〈Q〉定期券を買ったのに無駄になってしまったのが残念です。

〈A〉JR東日本では、「2020年4月8日以降当該定期券をご利用にならない場合、特例により2020年4月7日に払いもどしのお申し出をされたものとみなして1か月単位で計算した額を払いもどし（所定の手数料がかかります）いたします。」という対応をしています。つまり今から申し出ても過去の分にさかのぼって払いもどしの清算をしてくれるということです。小田急電鉄や大雄山線でも同様の対応がされていますので、最寄り駅で問い合わせてみてください。